

第69回青少年読書感想文全国コンクール課題図書

高校生編



『ラブカは静かに弓を持つ』



安壇美緒 著
集英社 (Fアンダ)

それでも、曲をひいていくうちに、少しだけ橋の気分は弾んだ。家と会社の往復では見られるはずもない大海原の景色が、頭の中にふっと広がる。

音楽というのは、不思議だ。いま目の前にないはずの情景を呼びおこすことができる。

少年時代のある事件から心を閉ざしてきた橋は、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠を掴むこと。美しき孤独なスパイが最後に手にするのは…。

読みどころ

主人公・橋は幼少期にチェロを習っていた。そこでなにがあったのか？序盤はこれから何が起るのか、ぐいぐいと読めます。ラブカは、深海にすむサメのことで、生態が謎な生き物のひとつです。

『タガヤセ! 日本「農水省の白石さん」が農業の魅力をお話します』



白石優生 著
河出書房新社 (Y612シ)

インターネットでは「ばずまふ」と検索して、見てみてください。チャンネル登録者数15万人、2500万回以上の再生数を誇るチャンネルに成長しました。

そう、日本の農林水産業は本当にすごいです！

現役官僚 YouTuberとしてメディアにも登場する著者が最新の農業から、実はスゴい日本の農作物、日本の農業の未来までを語る。国民の食と命を支える農林水産省の仕事や、日本のおいしい食材を使ったレシピも紹介。

読みどころ

農業は命を扱う仕事。生産調整の難しさや、新しい農業のかたち等々。

全部読むと結構な文章量です。さて、感想文どうしよう。おうちが農業を営んでいる人なら、そこから始めて書いていくと、とっても良い方向に持っていけそうです。

『昆虫の惑星』



アンヌ・スウェルトルップ＝ティエゲソン 著
小林玲子訳 辰巳出版 (Y407サ)

たとえば太平洋地域に生息するゴキブリの一種は、珍しく胎生(卵胎生)だ。つまり卵は体内で孵化する。

この種の雌のゴキブリの腹には特別な腺があって、乳汁が分泌される。この“ゴキブリミルク”にはヒトの新たなスーパーフードになるという意見もある。

子煩悩なハサミムシ、乾いて休眠するネムリユスリカ、水中で音楽を奏でるミズムシ…。ノルウェーの女性昆虫学者が、奇妙で美しく風変わりな虫たちについて語る。ヒトと昆虫の関わりもとりあげる。

読みどころ

あとがきにもありますが、身の回りのムシが激減している。虫の、口に耳があるところとか、脚に味覚があるとか興味をつきないテクニカルさがあると思うんですけど。

課題図書は神栖市に住んでいる人・神栖市の学校に通っている人が1冊まで借りられます！貸出期間は7日間です。



『スクラッチ』



歌代朔 著
あかね書房 (Fウタシ)

そっと慎重に、それから静かに力をこめて、僕は黒を削り出していく。

パレットナイフを短く持った指先に伝わる、下絵の凹凸に少しずつ引っかかる感覚。

読みどころ

コロナ禍でバレーの「総体」が中止になった鈴音。出展するはずの「市郡展」の審査がなくなった千咲。それでも出展作の「カラフルな運動部の群像」を描き続ける千咲のキャンバスに、不注意から鈴音が墨を飛ばしてしまい…。

コロナ禍になって大会がなくなったり、行事がなくなったり…登場人物のキラキラさに感動。小説にでてくる人々は、なぜ自分の気持ちを言葉にできるのでしょうか。それが小説だからです。

『アップステージ』



ダイアナ・ハーモン・アシャー 著
武富博子 訳
評論社 (933アシヤ)

「シーラは音楽の超能力があるんだって！」

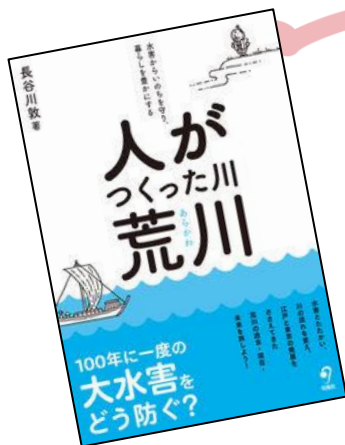
「どんな音もわかるらしいよ。ただ、わかるんだって」

読みどころ

シャイで目立つことが大嫌いなシーラ。でも、心の中では「学校ミュージカルに出演したい!」とっていて…。ミュージカルの幕が開くまでのドタバタを描く、ユーモアいっぱいの物語。

4年前の課題図書「サイドトラック」の同作者。日本の比じゃなく人前で話すこと・発表することのプレッシャーがあるアメリカで、いわゆる陰キャが仲間たちとミュージカルを成功させる「ええ話しやーん」です。

『人がつかった川荒川』



長谷川敦 著
旬報社 (517ハ)

江戸から農村にし尿を運ぶのは、大変な作業でした。し尿の中でもオシッコは液体なので、かなりの重さになるからです。だからこそ重い荷物を一度に運ぶことができる船が大活躍をしました。(し尿を運ぶ船は、「葛西船」とよばれていました。

読みどころ

首都圏をつらぬき、流域に約1000万人が住む荒川。川の流れを変えることで江戸の繁栄は生み出され、度重なる洪水から人々を守ってきた。川の歴史と流域の暮らしの変化を丁寧に追いながら、その過去・現在・未来を旅する。

今年の中学生向け課題図書のなかで一番字が大きいです。というだけで、この本を選んだ方。歴史や地理・環境問題と、感想も書きやすい本ではないかと思います。歴史と地理苦手な人は、がんばって読んでみてね。